３．セッション ３

歯科医師会との連携した教育の充実を図る
―地域医療実習―

北海道医療大学

北海道医療大学歯学部
生体機能・病態学系　臨床口腔病理学分野
吉田　光希

本学では、北海道歯科医師会、札幌歯科医師会の先生方とともに、まず、歯科医師会との連携面での地域医療実習の問題点を抽出した。

問題点として、昨年度は臨床実習までの準備期間が短かった為、本学同窓会の先生方への協力要請のみとなり、他大学出身者施設への協力を要請出来なかった。また、昨年度は学外医療機関として計15施設に依頼したが、この施設数では、今後学生数の増加があると対応出来なくなる可能性が指摘された。今後の対策としては、歯科医師会事務局への協力を要請することで、他大学出身者施設への依頼が可能となり、施設数を確保できるのではないかという案が話し合われた。

また、他大学実習の良い点として、他大学では低学年における臨床実習プログラムが組まれているが、本学では実施されていない点が挙げられた。本学の改善点として、低学年からの臨床実習の導入案や臨床実習施設の要件を満たす学外医療機関に対して、地域医療実習への協力要請をすすめていく方向性を話し合った。

歯科医師会と大学との連携で改善すべき点として、本学同窓に限定されていた実習協力施設を他大学出身者施設へ広げて行く点、「地域は大きなホスピタル」という概念を全員が共有できるよう同じ意識をもった連携が必要である点、学生を学会に参加させることでモチベーションをあげていく点、歯科医師会の役割を学生にも理解出来るように改善していく（歯科医師会に入会する意義があまり理解されていない現状を改善する）点、近年は病院歯科医が増加しているので、急性期から慢性期、病院歯科から在宅へとスムーズに移行出来るよう、医科との連携が必要になってくる点、等の改善案が話し合われた。

地域医療についてのビデオを活用したIT教材については、日本歯科医師会の日歯TVにある100本以上のビデオを積極的に活用して行くことや、地域医療実習施設での先生方による臨床ビデオの作成の検討等が話し合われた。

ポートフォリオの活用案として、1～6年生における各年度単位での継続的なポートフォリオ作成案が話し合われた。また、協力して頂く歯科医師会の先生方にもポートフォリオについて勉強する機会を設ける必要性について話し合われた。

北海道医療大学

北海道医療大学歯学部
総合教育学系　臨床教育管理運営分野
長澤　敏行

他大学の良い点としては、同窓に限らず地域歯科医師会との連携がとれていること、低学年への実習プログラムが組まれていることなどがあげられた。北海道医療大学の問題点としては、実習の準備期間が取れなかったため、同窓の会員に協力をお願いしているが、学生数が増加すると対応しきれなくなる可能性があること、5年生に限定されたプログラムになっている事などがあげられた。

地域医療実習の実習の問題に対する改善案としては、大学から歯科医師会事務局へ依頼する事で連携をはかって行く道筋を作る事、同窓でない先生にも大学側として臨床実習生を受け入れる要件を明示して受け入れ態勢を整える事等があげられた。また低学年からの臨床実習を導入することも提案された。

連携の中で改善すべき点としては、地域は大きなホスピタルという概念を全員が共有できるような、同じ意識をもった連携が必要であることがあげられた。特に歯科医師会の役割を学生にも理解してもらえるようにする事が必要であるという討論がなされた。また病院歯科医が増加しているので、急性期から慢性期、病院歯科から在宅へとスムースに移行することが必要。医科の先生の理解が進むように連携していくことも提案された。

ビデオの活用については、歯科医師会にある日歯 TV がすでに 100 本を超えてそろっているので、積極的に連携して活用していくことが提案された。また臨床テクニックのビデオ作成等も提案された。低学年から継続的にポートフォリオを用いた評価を行う事も検討された。また、ポートフォリオ等の用語について歯科医師会の先生方にも知ってもらう機会が必要であるという意見も出された。

セッション３：

歯科医師会との連携した教育の充実を図る

―地域医療実習―

大学名 :北海道医療大学

大学のプロダクト担当：北海道医療大学　長澤 敏行

歯科医師会から見た地域医療実習の問題点

他大学実習の良い点：

- 同窓に限らず地域歯科医師会との連携がとれている。
- 低学年への実習プログラムが組まれている。

自大学実習の問題点：

- 実習の準備期間が取れなかったため、同窓の会員に協力をお願いしているが、学生数が増加すると対応しきれなくなる可能性がある。
- 5年生に限定された実習プログラムになっている。

地域医療実習の問題点に対する対応

問題点：

➡ 改善案：

- 臨床実習の要件を卒後研修の指導医資格を有する者
- 大学から歯科医師会事務局へ依頼が来れば、歯科医師会全体と協力体制ができる可能性がある
- 低学年からの臨床実習を導入する。

➡ ポートフォリオの活用案：

- 1年生から6年生まで継続的にポートフォリオを用いて評価する。

歯科医師会と大学の連携で改善すべき点

- これまで同窓に限られていた指導医を広げていく。
- 地域は大きなホスピタルという概念を全員が共有できるような、同じ意識をもった連携が必要。
- 学生を学会に参加させる。
- 歯科医師会の役割を学生さんにも理解できるようにする（歯科医師会に入会する意義が理解されていない現状を改善する）。
- 病院歯科医が増加しているので、急性期から慢性期、病院歯科から在宅へとスムースに移行することが必要。医科の先生の理解が進むように連携していく。

地域医療についてのビデオを活用したIT教材

- 歯科医師会にある日歯TVがすでに100本を超えてそろっているので、積極的に連携して活用していく。
- 歯科医師会の先生方の臨床ビデオを作成などを検討する。

地域医療実習におけるポートフォリオの活用

- 1年生から6年生まで継続的にポートフォリオを用いて評価する。
- 歯科医師会の先生方にもポートフォリオなどについて知る機会を設ける。

「歯科医師会との連携した教育の充実を図る」
－地域医療実習－

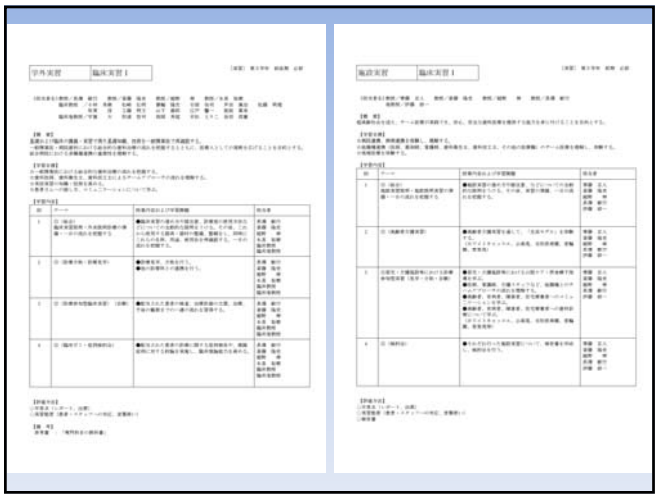
北海道医療大学における地域医療実習

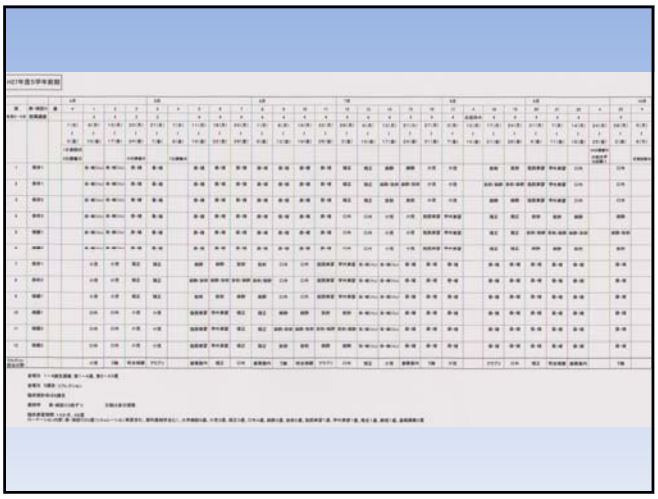
北海道医療大学歯学部
越野　寿

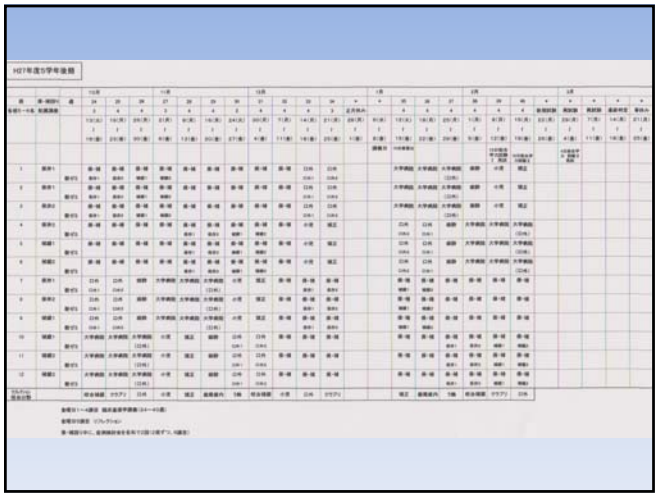
北海道医療大学での診療参加型臨床実習推進のための取組み

・患者数不足を補い、学生の臨床技能を向上させるためには、臨床実習の量・質の充実が必要

① 実習時間の延長（量）
② 細切れ実習から連続実習へ（量）
③ シミュレーション実習・相互実習による診療参加型臨床実習への円滑な移行（質）
④ 同意書整備（量）
⑤ 患者配当制（量）
⑥ 講座配属制（質）
⑦ 学外医療機関実習（量・質）
⑧ 多職種連携教育（質）
⑨ 福祉施設実習（質）
⑩ 訪問診療実習（量・質）







学外医療機関実習

・大学だけではなく、一般開業医における総合的な歯科治療の流れを把握する。

・地域で活躍する優れた歯科医師から指導を受けることによって、医療人としての視野を広げる。

・総合的歯科医療の実践によりさまざまな場面でのコミュニケーション能力を高める。

平成25年度　　臨床教授　7名
　　臨床准教授　8名



4月24日　学外医療機関実習FD研修会

学外医療機関実習FD研修会の実施

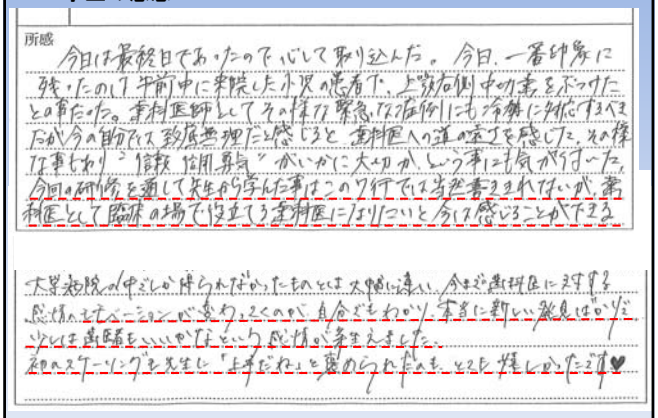


学外医療機関実習の様子



大学における縦割りの専門診療科での実習と違い、
総合歯科診療を学べるメリットがある。

学生の感想



大学で学べないことがたくさん学べた
一般開業医の様々なやり方(患者のさばき方、消毒・滅菌方法)が勉強になった
もう少し出来ることが増えてから行きたかった
大学で臨床実習をきちんとしている人としてない人との差が大きいと思った
もっと積極的に自験すればよかった
自分の将来像が明確に理解できた気がする
実際の臨床現場を見て、勉強のモチベーションもあがった

患者にたくさん接することが出来た
人間としてのマナーなどを医院長に教えてもらった
開業医での治療や器具の使い方の違いを知ることができた
他の歯科医院も見学してみたかった
大学ではあまり出来ない体験ができた
短期間でも症例が色々と見れたのでよかった

（要望）
内回り実習をやってから学外研修に行きたかった
学外研修の期間を延長してほしい
学外研修の行き先をもう少し早く発表してほしい
場所が遠く交通費が結構かかった
学外研修でもっと色々なところをローテーションすればいいと思った
大学内での臨床実習を行ってから行きたかった

福祉施設実習

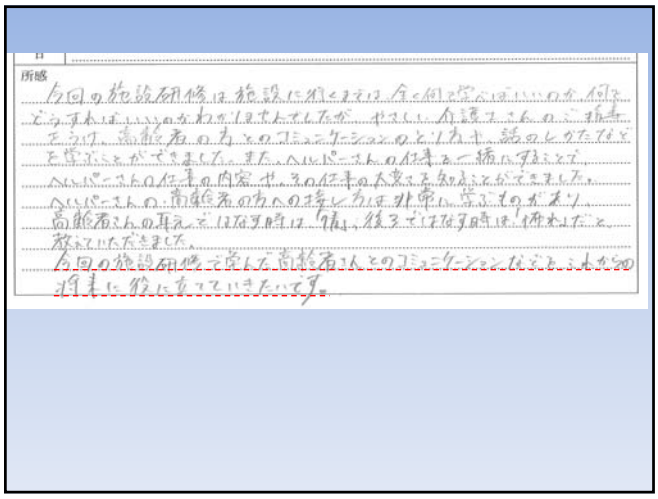
- 第1学年「医療人間学演習」において、歯科医師を目指す学生として患者・ 家族という人間を理解し、さらに自分自身を問うことで、ひとりの人間として「人間」について学ぶことを目的として、福祉施設での研修を行った。
- 老人施設、障害者施設、リハビリテーション施設での体験を通して、学生がどのような人間関係を形成し、そのなかで自らの役割をどのように考察するかを学生に問いかけた。
- その結果、歯学に対する学習意欲の向上、人格を高める態度の涵養、自主的学習意欲、行動力の涵養、患者－歯科医師の信頼関係の重要性の認識、保健・医療・福祉の有機的連携の理解など、学生にとって有意義な研修となった。

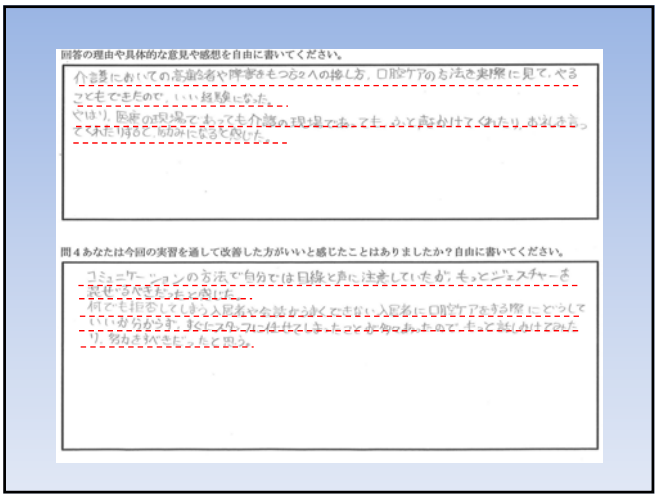
- 第5学年「臨床実習」では、福祉施設において、高齢者・要介護者の「生活モデル」を理解し、臨床実習生（歯科医師）として何ができるのか、歯科診療上の留意点は何かなど、要介護者の安全な診療のために必要な知識・態度・技能を習得することを目的としている。また、歯科医師と介護スタッフとの連携の重要性を理解し、さらにコミュニケーション能力を高めることを目的とする。

施設実習　　3施設　　1施設あたり学生5～6人ずつ実習









地域支援医療科　訪問診療実習

訪問診療において、診療チームの一員として診療に参加し、要介護者を安全に診療するための知識・技能・態度を修得することを目的としている。

- 要介護者の診療介助
- 口腔ケアの実施
- その他、簡単な処置の実施

保存・補綴実習期間に実施。
患者数は1日約5～10名
帰院後にレポートを提出し、指導医から評価をもらう。

地域支援医療科 訪問診療実習

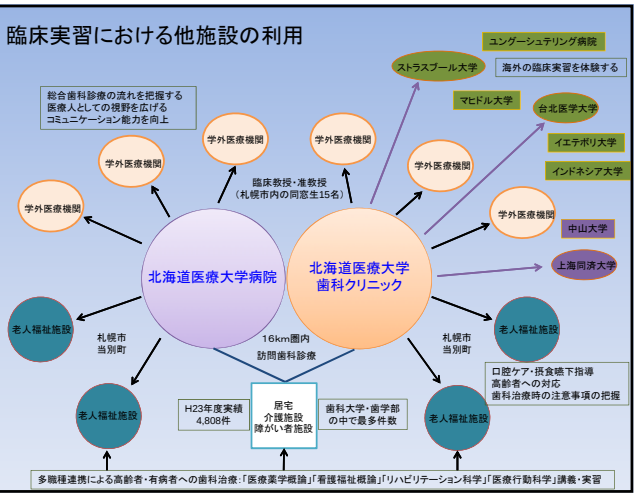





海外短期臨床実習



臨床実習における他施設の利用



海外臨床実習報告会



University of Indonesia

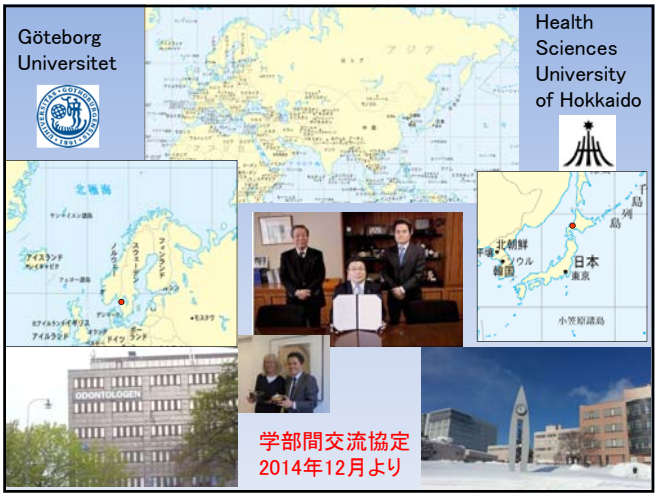
Tanaka Rei

UNIVERSITAS INDONESIA
Veritas, Probitas, Iustitia
EST. 1849

Friends



Göteborg Universitet / Health Sciences University of Hokkaido



学部間交流協定
2014年12月より

日付	内容
3月16日（月）	ガイダンス 、衛生学+病理学 （研究発表①）
17日（火）	衛生学+病理学 （研究発表②、外来見学）
18日（水）	歯周病学（外来見学） プレゼン 学生小児歯科（外来見学）
19日（木）	歯周病学、学生歯科（外来見学）
20日（金）	外科（外来見学）
21日（土）	ヴィンテルゴーラン
22日（日）	市内観光
23日（月）	放射線学（講義）
24日（火）	歯内療法学（外来見学）、技工士プログラム見学
25日（水）	プロネマルク（外来見学）

学生歯科見学（衛生士科）




FACULTÉ DE CHIRURGIE DENTAIRE DE STRASBOURG
UNIVERSITÉ DE STRASBOURG
短期海外臨床実習 IN STRASBOURG
松原 遥平
鈴木 あやか




Diakonie Klinikum
Jung-Stilling Krankenhaus Siegen, Germany




マヒドン大学
海外短期臨床実習報告
2015年4月15日
歯学部6年 石原


Mahidol University Faculty of Dentistry
Certificate of Participation
This is to certify that
Mr.Takumi Ishihara
has successfully participated in
Student Exchange Program
March 17 - 24, 2015
Mahidol University
Faculty of Dentistry
Student Exchange Program





学生の変化

- 昨年度と比べて、積極的に診療に参加しようとする意欲と態度が認められる。
- 実習後のレポートの記載内容がより具体的になり、考察内容には実際の失敗談から自己問題解決能力を示す内容の記載が増え、文章も昨年と比較して質が向上している。
- 学生が学習目標をしっかりと認識しながら実習を進めている様子が認められる。
- 診療チームの一員であるという自覚が感じられる。
- 色々な実習を組み込んでいるので、楽しんでいる様子。
- 講座配属制になったので、教員とのディスカッションやコミュニケーションをとる時間が増え、教員に質問しやすくなった。
- 配属学生以外の学生も医局を訪問しやすくなった。
- 診療参加型臨床実習前のシミュレーション実習、相互実習に対する真剣みが増した。

岩手医科大学

岩手県歯科医師会
三善　潤

三大学からの報告より、地域医療実習は学生の学習に対するモチベーションを大いに向上させ、積極性や態度の変容、歯科学生としての意識変化をもたらす有意義な教育であることが理解できた。

各大学が学生教育のなかで、「歯科医師会の役割」を伝え、地域の歯科保健医療を担う歯科医師会の立場をご理解いただいていることに心から感謝したい。

1学年から卒業まで「チーム医療・社会と歯科医療」を一貫して教育し、「歯科医療人教育」を実践している昭和大学では、近隣の歯科医師会に依頼される在宅訪問は減少している（訪問専門非会員歯科医師の増加）、また高齢者の増加にともない、同窓の歯科医師会会員の歯科医療機関だけでは実習への対応が難しい、という問題を抱えていた。将来的に遠方の歯科医療機関にも協力を要請したり、患者数の多い夜間診療にシフトする等、実習先や形態を模索しなければならないかもしれないとのこと。先般の日本創成会議でも論じられていたとおり、首都圏に迫る急激な高齢化という危機的現状を目の当たりにした思いである。

地域医療実習先での挨拶をはじめとする、学生の実習態度については、指導される先生方が厳しくマニュアル化してチェックしておられる、ということで、そのご努力には敬意を表したい。

学生には最初に抱いた緊張感を忘れることなく、今後の臨床にも取り組んでもらいたい。

岩手医科大学の専門体験実習においては、協力歯科医療機関と大学の双方が学生の知識や資質を共有することで、より効果的な教育が期待できる。見学内容を現在まで学習した知識と関連づけることは、学生にいま学んでいることの意義を理解させ、よりモチベーションを高めることに繋げると思われる。今回の WS は、実習の改善点などを討論する、よい機会であった。

地域医療実習において、すべての学生が均等に在宅診療・補問診療の見学ができない、という課題は、在宅歯科医療がもつ特殊性によるものであり、当院における臨床研修歯科医研修の際にも経験する部分である。

岩手医科大学

盛岡市歯科医師会
橋場 友幹

1. 歯科医師会からみた地域歯科医療実習の問題点

1）他大学実習の良い点

実習風景を動画で記録している（翌年以降の手本となる）。学生の挨拶がしっかりできている（患者誘導時、各施設のスタッフに対して）。在宅診療・訪問診療の見学数が多い

2）自大学実習の問題点

学生の挨拶に関する十分な教育ができていない。全ての学生が在宅診療・訪問診療の見学ができていない。大学と実習受け入れ施設間で教育内容の共用ができていない（情報交換の場が少ない）。実習報告会に参加する教員（大学側）の数が少ない

2. 地域医療実習の問題点に対する対応

1）問題点および改善策

・歯学部教員が学生の性格などを把握していない。→教職員の連絡を密にする。
・受け入れ施設側に学生の情報が伝わっていない（性格、学習状況等）→事前に学生の情報を伝える。
・髪の色等身だしなみ。→指導の機会を増やす。
・実習中の教育内容が統一されておらず、各施設に任せているのが現状（誘導や介助・見学等の内容）→見学・介助等の指針を大学側から提示し、現在の学習との関連づけを随時説明。（現在のシラバスを指導施設に配布）
・学生のモチベーションが低い場合がある。→学生が実習の目的を明文化して持参。および、学生にインパクトがあるダイナミックな症例を見せるよう心がける（実際の患者／スライド）
・学生が実習中に倒れた時の対応について明確でない。→偶発的事故への対応を統一する。

2）ポートフォリオの活用案：

今年度より導入予定

3. 歯科医師会と大学間の連携で改善すべき点

専門体験実習等行った後の反省会が行われていない（時間的に診療があって参加できない）。学生情報の共有が不十分。現在の学習との関連づけがまちまちである点。

4. 地域医療についてのビデオを活用したIT教材

今年度より導入予定

5. 地域医療実習におけるポートフォリオの活用

今年度より導入予定

6. 三大学共通の修了試験の実施について

導入に向け検討中

セッション３：

歯科医師会との連携した教育の充実を図る

ー地域医療実習ー

大学名 :岩手医科大学

大学のプロダクト担当：盛岡市歯科医師会　橋場　友幹

歯科医師会から見た地域医療実習の問題点

他大学実習の良い点：

・実習風景動画で記録している（翌年以降の手本となる）
・学生の挨拶がしっかりできている（患者誘導時、各施設のスタッフに対して）
・在宅診療・訪問診療の見学数が多い

自大学実習の問題点：

・学生の挨拶に関する十分な教育ができていない
・全ての学生が在宅診療・訪問診療の見学ができていない
・大学と実習受け入れ施設間で教育内容の共用ができていない（情報交換の場が少ない）
・実習報告会に参加する教員（大学側）の数が少ない

地域医療実習の問題点に対する対応

問題点：

・歯学部教員が学生の性格などを把握していない
・受け入れ施設側に学生の情報が伝わっていない（性格、学習状況等）
・髪の色等身だしなみ
・実習中の教育内容が統一されておらず、各施設に任せているのが現状（誘導や介助・見学等の内容）
・臨床教育を受けていない（2年開始直後のため）
・現在の学習内容と実習内容との関連づけができていない（石膏、解剖学的な形態・・・）
・学生のモチベーションが低い場合がある
・学生が実習中に倒れた時の対応について明確でない

地域医療実習の問題点に対する対応

改善案：

・事前に受け入れ施設に学生の情報を詳細に伝える。
・見学・介助等の指針を大学側から提示する（見学ケースの種類・目安）
・現在の学習との関連づけを随時説明していく。（現在のシラバスを指導施設を配布）
・見学に行く学生が実習の目的を書いて持参する（何を見学する？等）
・学生にインパクトがあるダイナミックな症例（多数歯欠損症例等）を見せる（実際の患者／スライド）
・学生が実習中に倒れた時の対応を統一する

ポートフォリオの活用案：今年度より導入予定

歯科医師会と大学の連携で改善すべき点

・専門体験実習等行った後の反省会が行われていない（時間的に診療があって参加できない）
・学生情報の共有
・現在の学習との関連づけ

地域医療についてのビデオを活用したIT教材

今年度より導入予定

＜セッション3＞
「歯科医師会と連携した教育の充実を図る」
－地域医療実習－

岩手医科大学歯学部における学外連携教育プログラム

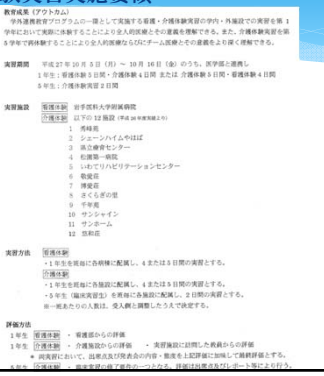
岩手医科大学歯学部
城　茂治

学外連携教育プログラム

第1学年　看護・介護体験実習
第2学年　歯科専門体験実習
第3学年　先端歯科医学・医療施設見学実習
第5学年　介護体験実習
　　地域医療体験実習
　　高次臨床実習

看護・介護体験実習

＊看護・体験実習実施要領


教育成果（アウトカム）
学外連携教育プログラムの一環として実施する看護・介護体験実習の学内・外施設での実習を第１学年において実際に体験することにより全人的医療とその重要を理解できる。また、介護体験実習を第５学年で再体験することにより全人的医療ならびにチーム医療とその重要をより深く理解できる。

実習期間　平成27年10月5日（月）～ 10月16日（金）のうち、医学部と連携し
１年生：看護体験５日間・介護体験４日間 または 介護体験５日間・看護体験４日間
５年生：介護体験実習２日間

実習施設　看護体験　岩手医科大学附属病院
介護体験　以下の12施設（平成28年度実績より）
1 秀峰苑
2 シニーンハイムやはば
3 県立療育センター
4 松園第一病院
5 いわてリハビリテーションセンター
6 敬愛荘
7 博愛荘
8 さくらぎの里
9 千年苑
10 サンシャイン
11 サンホーム
12 恵和荘

実習方法　看護体験
・１年生を班毎に各病棟に配属し、４または５日間の実習とする。
介護体験
・１年生を班毎に各施設に配属し、４または５日間の実習とする。
・５年生（臨床実習生）を希望により各施設に配属し、２日間の実習とする。
※一施設あたりの人数は、受入側と調整したうえで決定する。

評価方法
１年生　看護体験　・看護部からの評価
１年生　介護体験　・介護施設からの評価　・実習施設に訪問した教員からの評価
＊両実習において、出席点及び発表会の内容・態度を上記評価に加味して最終評価とする。
５年生　医療実習　・臨床実習の終了証書の一つとなる。評価は指導者及びレポート等により行う。

看護・介護体験実習（第1学年）

＊看護体験実習　本学附属病院5病棟で5日間

２班　中７階（血液・腫瘍内科）

１日（月）	２日（火）	３日（水）	４日（木）	５日（金）
オリエンテーション	環境整備	カンファランス	カンファランス	カンファランス
バイタル測定	ベッド作り	患者様をレントゲン室へ車椅子輸送	シーツ交換	環境整備
車椅子体験	バイタル測定	バイタル測定	環境整備	バイタル測定
看護師室(見学・説明)	車椅子・ストレッチャー輸送	環境整備	バイタル測定	足浴・全身清拭
配茶	配茶・配膳	配茶・配膳	車椅子・ストレッチャー輸送	陰部洗浄
バイタル測定	教授回診見学	カンファランス参加	足浴・全身清拭	骨髄穿刺見学
カンファランス見学	バイタル測定	バイタル測定	骨髄穿刺見学	配膳
動脈中心ｶﾃｰﾃﾙの交換見学	カンファランス	洗髪・足浴	腰椎穿刺見学	バイタル測定
	移植カンファランス見学		陰部洗浄	カンファランス
	氷枕・注射器作り		バイタル測定	無菌室見学
	薬の運搬・仕分け		配膳	ストレッチャー体験
			カンファランス	反省会

看護・介護体験実習（第1学年）

＊介護体験実習　施設でのスケジュール

６班　サンホーム

９日（火）	１０日（水）	１１日（木）	１２日（金）
施設説明	コミュニケーション	申し送り	申し送り
読み聞かせ	食事介助	車いす輸送	車いす輸送
コミュニケーション	ホール整理	ラジオ体操	ラジオ体操
食事介助	着脱衣・清拭介助	ドミノ倒し	食事介助
着脱衣・清拭介助	申し送り	食事介助	配膳・退膳・配茶
申し送り	車いす輸送	配膳・配茶	着脱衣・清拭介助
車いす輸送	配膳・退膳	着脱衣・清拭介助	口腔ケア・義歯洗浄
水分補給介助	おむつ交換	口腔ケア・義歯洗浄見学	コミュニケーション
配膳・退膳	浣腸見学	コミュニケーション	習字・ビデオ鑑賞
	幼稚園児発表会		入浴見学
	ラジオ体操		
	カーテンたたみ		

看護・介護体験実習（第1学年）

＊介護体験実習の感想

後半の介護体験実習では、花巻にあるサンシャインという施設で実習させていただきました。ここでも自分が知らないことばかりで驚きを隠せませんでした。たとえば、着替えの介助の時はマヒのある人だったら、そのマヒのある方から服を着せたり、食事を食べさせるときは、お年寄りの方々がちゃんと飲み込んだのを確認してから、口に食べ物を運んだりと、お年寄りの人が快適に過ごせるようにと工夫されているのが分かりました。しかし、一方で抱えている問題も多々あるのだとわかりました。実習中に行われた五年生の方の口腔ケアを見学させてもらったのですが、胃瘻(PEG)を使って食事をしている人は口腔環境が悪くなっていることに驚きました。口を使わなければそうはならないとおもっていたのですが、そういうわけではなく、口を使うことによって出る唾液が出ないことが口腔環境の悪化に繋がっていくのだとわかりました。

高齢化社会になっている現代、介護士の仕事というのはますます重要性を持ってくるのだと思います。ですので、介護士の方々にはもっと頑張ってほしいと思います。

今回の実習は、私にとってとても貴重な体験をできました。この経験は人生において決して無駄にはならないと思います。短い期間でしたが実習先の皆さんには本当に感謝しています。

看護・介護体験実習（第1学年）





歯科専門体験実習（第2学年）

実施概要（学外）

学外の歯科医院での実習目標と実施概要

1．歯科専門体験実習の一般目標
歯科専門体験実習は、学外連携教育プログラムの一環として岩手医科大学の附属病院歯科医療センターあるいは統合基礎講座（歯学部）、および開業歯科医院での実習を行う。学外の開業歯科医院での実習では、歯科医療人としての基本的な知識・態度を学ぶとともに学生の地域歯科医療についての理解を深めることにより歯科医学に対するモチベーションを高めることを目的とする。

2．学生のめざす到達目標
・担当歯科医師（院長）・スタッフとコミュニケーションがとれる。
・担当歯科医師（院長）・スタッフの指導のもとに患者への配慮ができる。
・治療の概要について説明できる。
・守秘義務を実践できる。

3．実施概要
（1）実習期間　平成25年6月21日（金）～平成25年6月27日（木）（実習日程表参照）
（2）実習施設　18か所の歯科医院（歯科診療所）
（3）実習時間　8：50～16：10
なお、集合時刻及び終了時刻については、各歯科医院と協議の上決定する。
（4）その他
・半数ずつ2班（A班及びB班）にわかれ、開業歯科医院と学内施設で交互に実習を行う。（下記実習日程表を参照）
・実習最終日に発表会を開催する。（1人90秒、終了後担当教員からコメント）。
・成績評価方法は、体験実習の出席（発表会、講義、オリエンテーション含む）及び実習評価表、レポートにより評価する。（実習評価60%、レポート40%）
・学外で行われる実習の評価は、開業歯科医院の指導者の評価とする。
・実習施設への自家用車等での移動は禁止とする。

歯科専門体験実習（第2学年）

＊ 実施施設（学外）

歯科専門体験実習歯科医院一覧

No.	歯科医師氏名	ふりがな	歯科医院名	電話番号	FAX番号	〒	住　所
1	岩渕　安信	いわぶち　やすのぶ	医療法人紀那会岩渕歯科医院	019-654-1017	019-624-4869	020-0881	盛岡市天神町9-15
2	牛袋　徳道	うしぶくろ　のりみち	うしぶくろ歯科医院	019-647-8668	019-646-4519	020-0131	盛岡市中堤町13-43
3	小田中　健策	おだなか　けんさく	小田中歯科医院	019-637-7774	019-637-7782	020-0843	盛岡市湯沢西3-4-1
4	黒田　直寿	くろだ　なおとし	くろだ歯科医院	019-663-6601	019-663-6602	020-0011	盛岡市三ツ割5-7-5
5	大黒　英貴	だいこく　ひでき	医療法人だいこく歯科医院	019-635-8141	019-635-8131	020-0861	盛岡市仙北3-11-4
6	田中　健一	たなか　けんいち	医療法人尽誠会田中歯科医院	019-645-2821	019-647-2270	020-0125	盛岡市上堂1-16-27
7	中里　滋樹	なかさと　しげき	なかさと歯科医院	019-664-1781	019-664-1783	020-0117	盛岡市緑が丘3-2-44
8	松館　邦彦	まつだて　くにひこ	医療法人邦陽会松館歯科医院	019-659-2566	019-659-2566	020-0051	盛岡市下太田沢田68-2
9	柳澤　泰	やなぎさわ　ゆたか	やなぎさわ歯科クリニック	019-659-1500	019-659-1501	020-0866	盛岡市本宮字石仏22-16
10	児玉　厚三	こだま　こうぞう	こだま歯科医院	019-699-2710	019-699-2720	020-0173	岩手郡滝沢村滝沢字室小路77-1
11	福士　宏也	ふくし　ひろや	福士歯科医院	019-647-0418	019-647-0412	020-0173	岩手郡滝沢村滝沢字穴口314-4
12	三善　潤	みよし　じゅん	三善歯科医院	019-647-7666	019-647-8770	020-0132	盛岡市西青山2-18-4
13	大林　勢津子	おおばやし　せつこ	茶畑歯科医院	019-653-2545	019-625-0886	020-0822	盛岡市茶畑1-8-18
14	武内　公子	たけうち　きみこ	武内歯科医院	019-637-6055	019-637-6055	020-0834	盛岡市永井12-117-1
15	長野　えり子	ながの　えりこ	盛岡ながの脳神経・歯科クリニック	019-639-0123	019-639-0127	020-0835	盛岡市津志田16-17-2
16	中村　ますみ	なかむら　ますみ	中村・北條クリニック	019-636-3555	019-636-3222	020-0864	盛岡市西仙北1-32-15
17	鈴木　千枝子	すずき　ちえこ	神の前歯科・小児歯科医院	019-697-6995	019-697-1625	028-3615	紫波郡矢巾町南矢幅13-29-1
18	前田　雅子	まえだ　まさこ	前田歯科医院	019-645-2135	019-646-1351	020-0133	盛岡市青山4-30-1

歯科専門体験実習（第2学年）

＊ 写真（学外）











歯科専門体験実習（第2学年）

実施概要（学内）

学内施設での実習目標と実施概要

1．歯科専門体験実習の一般目標
歯科専門体験実習は、学外連携教育プログラムの一環として岩手医科大学の附属病院歯科医療センターあるいは統合基礎講座（歯学部）、および開業歯科医院での実習を行う。歯科医療センターでの実習では、歯科医療人としての基本的な知識・態度を学ぶとともに学生の地域歯科医療についての理解を深めることにより歯科医学に対するモチベーションを高めることを目的とする。一方、統合基礎講座での実習では、歯学研究の醍醐味にふれることにより学生の先進的歯科医療についての理解を深めるとともに、論理的思考力を身につけさせることを目的とする。

2．学生のめざす到達目標
（1）歯科医療センターでの実習における学生のめざす到達目標
・診断、治療計画等について指導者とコミュニケーションがとれる。
・治療の概要及びその適否性について説明できる。
・指導者の指示・指導のもとに患者への配慮ができる。
・実習した症例について考察できる。
・守秘義務を実践できる。
（2）統合基礎講座（歯学部）での実習における学生のめざす到達目標
・研究目標、研究計画等について指導者とコミュニケーションがとれる。
・研究の概要および研究方法の適否性について説明できる。
・指導者の指示・指導のもとに研究が実践できる。
・研究結果から導き出された結論について考察できる。

3．実施概要
（1）実習期間　平成25年6月21日（金）～平成25年6月27日（木）
（1ページ目程表参照）
（2）実習施設　岩手医科大学附属病院歯科医療センター及び統合基礎講座（歯学部）
（3）実習時間　8：50～16：10
（4）その他　（1ページ参照）

歯科専門体験実習（第2学年）

写真（学内及び発表会）













歯科専門体験実習（第2学年）

実施概要（学外）

実習の内容としては、新義歯の完成、残根抜歯、根管治療、歯根端切除などの歯科診療を見学し、介助としては、バキュームを持ったり、口唇の圧排やライト調整などを実施した。

２日間の実習を通して、一番印象に残ったことは重度の歯周病患者さんの治療法の一つとして、再植があることを知った。それは、左下７の歯周病で、根管治療をしても側枝があるのでそこが壊死しているため、何度も炎症がおきてしまう可能性があり、何度も治療をうけなければならない。そうならないための方法として、一度抜歯して、歯石などをきれいに除去し、側枝の部分をセメントなどで封入し、埋めなおすという治療法があることを説明していた。だいたい１か月くらいで動かなくなり、３か月くらいで上部構造をつくることができるとのことでした。そのような方法があることを初めて知ることができた。そのとき、再植できない場合もあることを患者さんに丁寧にわかりやすく説明していた。患者さんに対する説明が丁寧で、患者さんが納得してくれるまで、何度も説明を行い、ただ補綴物を入れて終わりではなく、入れてから考えられる起こりうることなどの説明を行っていた。また、説明だけではなく、スタッフ全員が治療の把握できるように記録を残こし、いつでも対応できるように連携をとって治療にあたっていた。今後わたしもだれでもわかる説明方法などを身に着けていけたらよいなと感じた。また、説明できるためには、しっかりと基礎を学ぶことが大切だとわかった。

介護体験実習（第5学年）

＊ 介護体験実習の感想

私が参加させていただいた秀峰苑での実習は、２日間という短い時間であったが非常に貴重な体験の連続であった。実習では、口腔清掃や食事見学、入浴介助、そして、施設利用者さんや職員さんとのコミュニケーションを通して、座学や臨床実習の中では知り得ることの難しい、介護される側とする側の口腔に対する思いや願い、意識や問題点などといった実際の声に触れることが出来た。口腔清掃指導や利用者のブラッシングを行った際の利用者さんの笑顔は心打たれるものがあった。また、日々、施設利用者さんお一人お一人の口腔清掃を行っている職員さんの日々の努力と、口腔清掃における煩雑さや限られた時間の中で行わなければならないという制約など、職員さんの口腔に対する高い意識と、職員さんが抱える思いや問題点を目の当たりにした際の衝撃はとても大きなものだった。歯科医療に従事していく者として、高齢者自身が抱える思いや問題だけではなく、高齢者を支える人が抱える問題点や思いにも目を向け、『ご家族・介護・看護・歯科・医科』が連携することが重要であり、より良い医療へと繋がるのだと強く感じる事のできた実習であった。

地域医療体験実習（第5学年）

実習施設一覧

No.	施設名	役職	施設長名		保険者名	郵便番号	住　所	Tel
1	奥州市国保まごころ病院	院長	及川 雄悦	歯科口腔外科長 角田 健一	奥州市	023-0401	奥州市胆沢区南都田字大神40	0197-46-2121
2	奥州市国民健康保険 衣川歯科診療所	所長	佐々木 勝忠		奥州市	029-4332	奥州市衣川区古戸52	0197-62-3062
3	一関市国民健康保険 千厩歯科診療所	所長	小原 健		一関市	029-0802	一関市千厩町小梨字大久保1番地１	0191-53-2535
4	八幡平市国民健康保険 安代診療所	所長	和田 進	歯科医師 田中 稔矢	八幡平市	028-7534	八幡平市荒屋新町144-1	0195-72-3115
5	西和賀町国民健康保険 沢内病院	病院長	北村 道彦	歯科医長 内記 恵	西和賀町	029-5614	和賀郡西和賀町沢内字大田2地割69番地	0197-85-3131
6	金ヶ崎町国保金ヶ崎歯科診療所	歯科長	高橋 通訓		金ヶ崎町	029-4503	胆沢郡金ヶ崎町鎌水98	0197-44-2842
7	宮古市国民健康保険 川井歯科診療所	所長	松生 誠		宮古市	028-2302	宮古市川井2-169-5	0193-76-2363
8	岩泉歯科診療所	所長	岩田 信浩		岩泉町	027-0500	下閉伊郡岩泉町岩泉字聖堂59-5	0194-22-4311
9	国民健康保険 田野畑村歯科診療所	所長	近藤 貴樹		田野畑村	028-8407	下閉伊郡田野畑村田野畑120-3	0194-33-3100
10	普代村国民健康保険 歯科診療所	所長	藤原 秀世		普代村	028-8333	下閉伊郡普代村第10地割字羅賀7番地8	0194-35-2580
11	秋田厚生連 雄勝中央病院	病院長	中村 正明	歯科口腔外科長 大平 明範		012-0055	秋田県湯沢市山田字鼻ヶ丘25	0183-73-5000

地域医療体験実習（第5学年）

＊ 実習内容

・８：25　朝礼
・８：30～９：00　症例検討（脳萎縮、重力瞧下、舌下神経麻痺について）
・９：00～10：30　地域・施設見学（保険・福祉・医療の一体化された施設を考えた）
・10：30～11：30　医科放射線CT見学（脳CTの見方などを瀬川先生から指導を受けた）
・11：30～12：30　特養ホーム見学（症例検討した入居者の食事の様子を見学）
・12：30～13：30　昼食
・13：30～16：00　ケアマネージャーとの同行訪問（ケアマネージャーの仕事の把握、実際に患者さんのお宅を訪ねお話を聞いた）
・16：00～17：00　勝忠先生とのミーティング（実習の内容について話し合い）

地域医療体験実習（第5学年）

＊ 実習内容

８：30～８：40　スタッフミーティング
８：40～10：30　事務局長挨拶と自己紹介、衣川地区の特徴についての説明
10：30～　外来見学（TEK製作、概形・精密印象採得）
13：20～13：50　在宅訪問診療（言語訓練、口腔内診査）
14：30～17：00　胆沢病院NST回診

地域医療体験実習（第5学年）

実習内容

（午前）・治療見学、バキュームなどの介助
→患者は主に高齢者が多いため、義歯調整や歯周治療がメインであったが、骨隆起の小手術など多岐に渡って治療をしていた。
（昼休憩）・沢内病院の北村院長による、沢内病院における医科歯科連携、チーム医療の取り組みについての講義
→岩手県内でも特に高齢者が多い西和賀町（旧沢内村）は、他の市町村に先駆けて、地域医療連携や健康増進運動に取り組んでいることが分かった。また、医科歯科連携においての事例も説明してくださり、全身管理における歯科の重要性を知ることができた。
（午後）・隣接する特別養護老人ホーム「ぶなの園」への訪問診療の見学・介助
・午前に引き続き治療見学、バキュームなどの介助
・院内研修会への参加
→東北大学の先生の講義や、看護師・歯科衛生士のプレゼンテーションを聴講した。

地域医療体験実習（第5学年）

＊感　想

盛岡から普代村まで、途中三陸鉄道に乗り換えて片道約4時間程かかった。
震災後初めての受け入れとのことで、村の所々に震災の爪あとが残っていたが、「あまちゃん」のロケ地になった場所に連れて行ってもらい、復興が進んでいることを肌で感じた。
個々のつながりが強い、このような村で医療を提供することは、村民全体の歯科医療を一手に引き受けて行うため、計り知れない責任がかかってくることは間違いないが、それ以前に村民の方に自分のほうから歩み寄って、信頼関係を構築することが重要であると感じた。
医療を提供することで構築される歯科医師-患者の関係ではなく、その村に住んでいる村民同士としての関係を築いていくためには、信頼を得られるような行動を日ごろから行うことが大切だと思った。

地域医療体験実習（第5学年）

アンケート結果

1）実習は有意義でしたか？

□ 大変有意義だった	22人	□ 有意義だった	25人
□ 有意義でなかった	4人	□ 全く有意義でなかった	0人

2）実習は楽しくできましたか？

□ 大変楽しかった	20人	□ 楽しかった	27人
□ 楽しくなかった	4人	□ 全く楽しくなかった	0人

3）地域医療体験実習を通して、歯科医師の仕事に魅力と誇りを感じましたか？

□ とても感じた	16人	□ 感じた	32人
□ あまり感じなかった	3人	□ 全く感じなかった	0人

地域医療体験実習（第5学年）

実習風景



昭和大学

昭和大学歯学部
口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門
美島 健二

昭和大学の片岡教授から本学における体験実習の概要が説明された。すなわち、1 年次の実習では、4 学部合同の初年児体験実習として、高齢者疑似体験、福祉施設体験、病院見学、AED+心肺蘇生実習および外科的救急処置実習が行われ、加えて、歯学部独自の実習として、マナー・手洗い実習と歯科医師会に所属される富士吉田周辺歯科医院にて見学実習が行われている旨報告がなされた。また、3 年次においては、旗の台周辺地域の歯科医師会に所属される歯科医院にて 2 日間の実習が行われているとの説明がなされ、実習後の学生アンケート結果も示された。その中で、当該実習が実際の現場を体験できる貴重なもので、モチベーションの向上につながる有意義なものであったとの感想が提示され、本実習プログラムが学生の歯科医療に対する意識の向上に役立っているもの考えられた。

説明後の質問では、実習ビデオの中で学生の挨拶が徹底されている点が指摘され、実習前に行われている学内での演習などに関する質問がなされた。このことに関して、片岡教授から説明がなされ、昭和大学での学外実習では 4 学部共通のチェックリストがあり、1 年次からその徹底がなされているとのことであった。

その後、歯科医師会の先生方から当該実習の問題点やその改善点について直接ご意見を頂くことが出来た。カリキュラム面の問題点は、実習日数が少なく、かつ、実習時間が制限されているため症例を十分見せることが出来なかったとのご意見がだされた。この点については学生実習という点から、ある程度時間的な制約は否めないが今後の課題の 1 つとして検討していきたいと思われた。一方、1 日目と 2 日目の実習の間に 1 週間あることにより同一患者の治療を実習することが可能となった点は良い点であるとの指摘もなされた。また、昭和大学における歯科医師会との連携教育は、1 年次の地域連携歯科医療実習Ⅰと 3 年次の地域連携歯科医療実習Ⅱが現状ではあげられるが、将来的には 5 年生においても歯科医院見学実習を行う予定であることが報告された。その際に歯科医師会の先生方から、実習内容に関するすみわけを如何に行うかとの質問がなされた。これに対して、1、3 年次では、歯科医院を中心に行われ 5 年次においては在宅を中心に実習がなされるとの説明がなされ、そのすみ分けが示された。

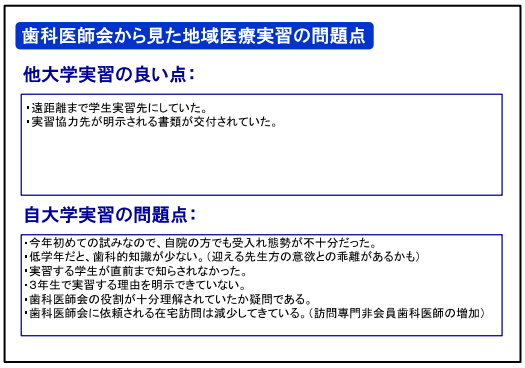
学生の問題点としては、服装の乱れた学生や態度の悪い学生が少なからず見受けられたのとの報告がなされ、実習前の態度教育の更なる徹底が必要であると考えられた。

本セッションでは、学生実習に直接従事されておられる歯科医師会の先生方の貴重なご意見を拝聴する機会が得られ、これまでにない熱いディスカッションがなされたものと思われた。本学の地域連携歯科医療実習にご協力頂いている歯科医院の先生方におかれましては、本当に忍耐強く学生の指導にご尽力頂き心より御礼申し上げます。

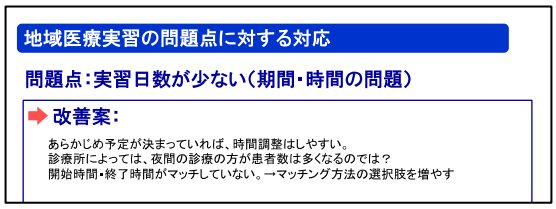
昭和大学

昭和大学歯学部
スペシャルニーズ口腔医学講座　口腔衛生学部門
弘中　祥司

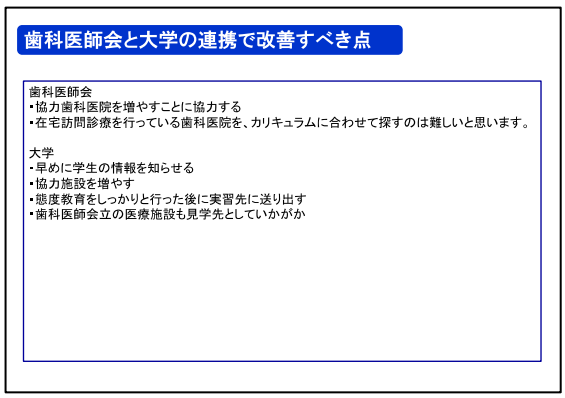
歯科医師会との合同のセッション3は大人数で行われました。まず、歯科医師会の先生方より、地域医療実習の問題点を挙げていただきました。今回の学生は、3年生であったため、臨床の知識があまりなく、指導する先生と学生との知識の差が乖離している点で、問題視されておりました。これは5年生の実習なら問題ないですが、今度は逆に「大学で習った診療ではない」と興味本位で見られるのも困るとの意見がありました。ただ、到達目標の歯科医師会の役割について知る、という項目は、院外で行われている事業も多いので、時間内に見学させることは難しい、との意見もありました。



また、見学に際して、実習日の指定があり、学生の時間割で帰すことは、患者さん見学の観点からは難しい場合もあり、特に診療所によっては夜間の診療の方が平日は多い場合もあるため、時間帯の設定も工夫できれば、より良いとの意見がありました。それに関しては、歯科医師会の先生方も全員一致の意見で、あらかじめ早めに実習日時を決定していれば、調整しやすいのでは？との意見が多数でした。



最後に、歯科医師会と大学の連携で改善すべき点については、歯科医師会としては、・協力歯科医院を増やすことに協力する・在宅訪問診療を行っている歯科医院を、カリキュラムに合わせて探すのは難しいと思う、等の意見が出ました。また、大学からは・早めに学生の情報を知らせる・協力施設を増やす・態度教育をしっかりと行った後に実習先に送り出す・歯科医師会立の医療施設も見学先としていかが、等の意見があり、これから地域で一緒に地域住民を診るという意識に関しては、一致した意見でした。



今後、ますます増加する高齢患者・在宅療養患者を少しでも快適に診療できる工夫を、歯科医師会・大学の垣根を取り払って行う必要性があると思われました。

セッション３：

歯科医師会との連携した教育の充実を図る

ー地域医療実習ー

大学名 :昭和大学

大学のプロダクト担当：昭和大学　弘中 祥司

歯科医師会から見た地域医療実習の問題点

他大学実習の良い点：

・遠距離まで学生実習先にしていた。
・実習協力先が明示される書類が交付されていた。

自大学実習の問題点：

・今年初めての試みなので、自院の方でも受入れ態勢が不十分だった。
・低学年だと、歯科的知識が少ない。（迎える先生方の意欲との乖離があるかも）
・実習する学生が直前まで知らされなかった。
・3年生で実習する理由を明示できていない。
・歯科医師会の役割が十分理解されていたか疑問である。
・歯科医師会に依頼される在宅訪問は減少してきている。
（訪問専門非会員歯科医師の増加）

地域医療実習の問題点に対する対応

問題点：実習日数が少ない（期間・時間の問題）

➡ **改善案：**

あらかじめ予定が決まっていれば、時間調整はしやすい。
診療所によっては、夜間の診療の方が患者数は多くなるのでは？
開始時間・終了時間がマッチしていない。→マッチング方法の選択肢を増やす

➡ **ポートフォリオの活用案：**

歯科医師会と大学の連携で改善すべき点

歯科医師会
・協力歯科医院を増やすことに協力する
・在宅訪問診療を行っている歯科医院を、カリキュラムに合わせて探すのは難しいと思います。

大学
・早めに学生の情報を知らせる
・協力施設を増やす
・態度教育をしっかりと行った後に実習先に送り出す
・歯科医師会立の医療施設も見学先としていかがか

地域医療についてのビデオを活用したIT教材

現在検討中です

地域医療実習におけるポートフォリオの活用

SEAを用いたポートフォリオは適していると思われる。

昭和大学歯学部
地域連携歯科医療実習

スペシャルニーズ口腔医学講座
歯学教育学部門
片岡 竜太

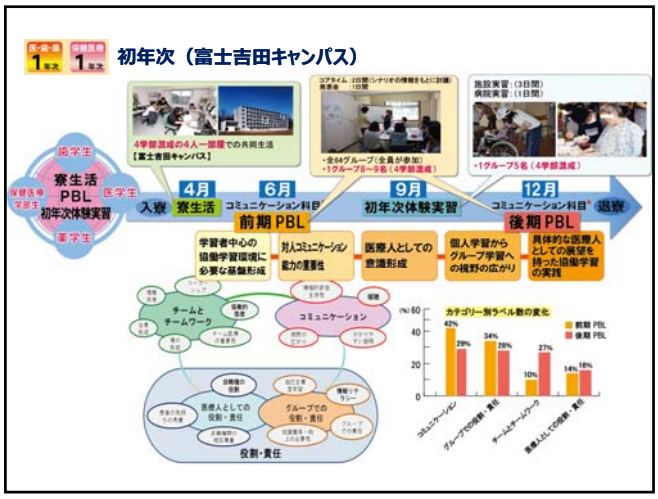




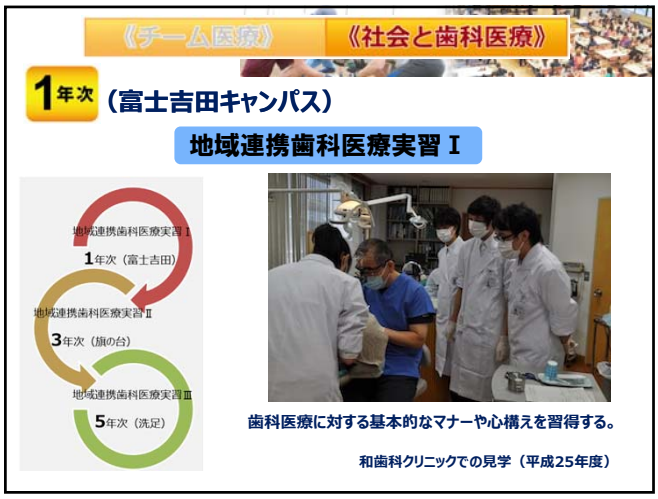




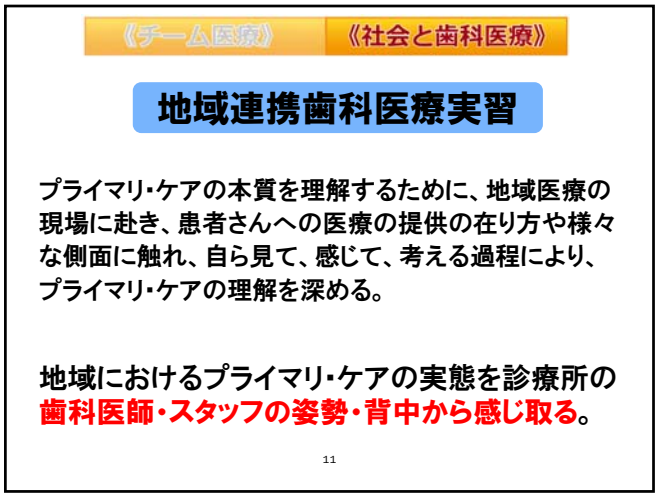


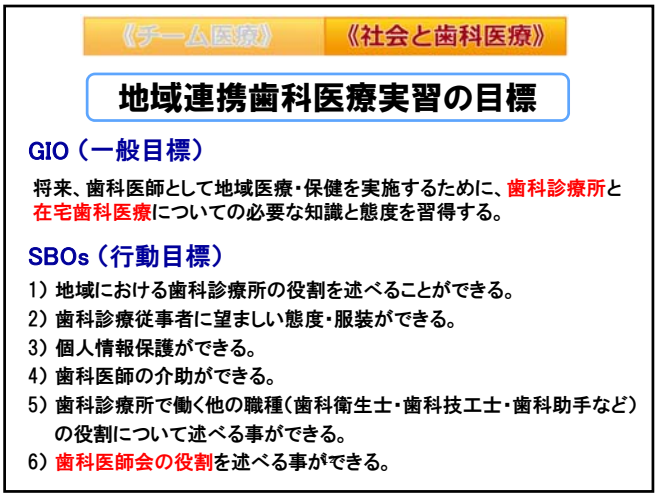

初年次（富士吉田キャンパス）
4月
6月
9月
12月
入寮
寮生活
コミュニケーション科目
初年次体験実習
前期 PBL
後期 PBL
退寮
学習者中心の協働学習環境に必要な基盤形成
対人コミュニケーション能力の重要性
医療人としての意識形成
個人学習からグループ学習への視野の広がり
具体的な医療人としての展望を持った協働学習の実践
チームとチームワーク
コミュニケーション
役割・責任


《チーム医療》
《社会と歯科医療》
1年次（富士吉田キャンパス）
地域連携歯科医療実習Ⅰ
地域連携歯科医療実習Ⅰ
1年次（富士吉田）
地域連携歯科医療実習Ⅱ
3年次（旗の台）
地域連携歯科医療実習Ⅲ
5年次（洗足）
歯科医療に対する基本的なマナーや心構えを習得する。
和歯科クリニックでの見学（平成25年度）


《チーム医療》
《社会と歯科医療》
1年次（富士吉田キャンパス）
地域連携歯科医療実習Ⅰ
地域連携歯科医療実習Ⅰ
1年次（富士吉田）
地域連携歯科医療実習Ⅱ
3年次（旗の台）
地域連携歯科医療実習Ⅲ
5年次（洗足）
歯科医療に対する基本的なマナーや心構えを習得する。
和歯科クリニックでの見学（平成25年度）

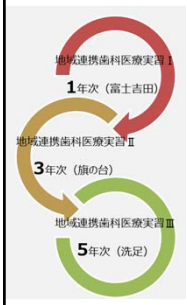

《チーム医療》
《社会と歯科医療》
2年次～4年次（旗の台キャンパス）
施設実習（2年次・地域連携・多職種連携の実習）
福祉現場での口腔ケア介護実習


《チーム医療》
《社会と歯科医療》
地域連携歯科医療実習
プライマリ・ケアの本質を理解するために、地域医療の現場に赴き、患者さんへの医療の提供の在り方や様々な側面に触れ、自ら見て、感じて、考える過程により、プライマリ・ケアの理解を深める。
地域におけるプライマリ・ケアの実態を診療所の歯科医師・スタッフの姿勢・背中から感じ取る。
11


《チーム医療》
《社会と歯科医療》
地域連携歯科医療実習の目標
GIO（一般目標）
将来、歯科医師として地域医療・保健を実施するために、歯科診療所と在宅歯科医療についての必要な知識と態度を習得する。
SBOs（行動目標）
1）地域における歯科診療所の役割を述べることができる。
2）歯科診療従事者に望ましい態度・服装ができる。
3）個人情報保護ができる。
4）歯科医師の介助ができる。
5）歯科診療所で働く他の職種（歯科衛生士・歯科技工士・歯科助手など）の役割について述べる事ができる。
6）歯科医師会の役割を述べる事ができる。



3年次 **地域連携歯科医療実習Ⅱ**



地域連携歯科医療実習

将来歯科医師として地域医療・保健を実践するために、歯科診療所と在宅歯科医療についての必要な知識と態度を習得する。

大谷歯科医院での見学（平成25年度トライアル）

地域連携歯科医療実習協力歯科医院　＜94施設＞

	歯科医師会	歯科医院名	氏名
1	品川	アリスバンビーニ小児歯科 大森診療所	丸山 達一郎
2	品川	きよみ歯科クリニック	遠見 清美
3	品川	大崎ThinkPark歯科	大矢 敦司
4	品川	大崎デンタルオフィス	猪狩 安豊
5	大森	おおいで歯科医院	大井手 伸行
6	大森	さくらガーデンクリニック歯科口腔外科	中島 様
7	大森	千葉歯科医院	浜野 美幸
8	大森	ながはら歯科クリニック	梅澤 宏亘
9	大森	ふくなが歯科医院	福永 秀樹
10	大森	村田歯科医院	村田 正夫
11	大森	安田歯科医院	安田 恵
12	大森	永井歯科医院	永井 宏文
13	大森	平和島駅前歯科医院	下山 忠明
14	大森	森山歯科医院	森山 正博
15	目黒区	岸歯科医院	岸 陽一郎
16	目黒区	西郷歯科クリニック	家泉 貴子
17	目黒区	青島デンタルオフィス	青島 弘和
18	目黒区	村上歯科クリニック	村上 光広
19	目黒区	半沢歯科医院	半澤 雄一
20	目黒区	米津歯科医院	米津 雅夫
21	目黒区	北村歯科クリニック	北村 真二
22	目黒区	麗華クリニック	歌魂 麗華
23	荏原	青柳歯科	北田 真紀
24	荏原	健デンタルクリニック	田口 健一
25	荏原	歯科滝沢医院	永野 真理子
26	荏原	寺岡歯科医院	寺岡 康利
27	荏原	よしひろ歯科クリニック	山田 嘉宏
28	蒲田	アロマスクエア歯科クリニック	青柳 浩樹
29	蒲田	井田歯科医院	井田 博久
30	蒲田	神田歯科医院	神田 喜行
31	蒲田	くろいわ歯科医院	黒岩 一
32	蒲田	佐久間歯科医院	佐久間 克哉
33	蒲田	高岡歯科医院	高岡 彰
34	蒲田	団歯科医院	團 智子
35	蒲田	永田歯科医院	永田 彰純
36	蒲田	なるかわ歯科医院	成川 正之
37	蒲田	林田歯科クリニック	林田 賢一
38	蒲田	ほりぐち歯科	堀口 尚司
39	蒲田	森住歯科医院	島 秀樹
40	蒲田	大谷歯科医院	大谷 俊一・恭子
41	世田谷区	石田歯科クリニック	石田 和弘
42	玉川	おおくら歯科口腔外科	大倉 一郎
43	玉川	船登歯科医院	船登 博子
44	玉川	本多歯科クリニック	本多 克行
45	玉川	自由が丘 田川歯科	田川 雅康
46	玉川	酒井歯科クリニック	酒井 敏博
47	港区芝	栗原歯科医院	栗原 真幸

地域連携歯科医療実習協力歯科医院　＜94施設＞

	歯科医師会	歯科医院名	氏名
48	港有志区	田中歯科西麻布診療所	田中 章浩
49	渋谷区	西堀歯科医院	武内 謙典
50	渋谷区	石河歯科医院	石河 信高
51	渋谷区	山下歯科医院	山下 徹
52	新宿区	吉川歯科クリニック	吉川 篤治
53	新宿区	赤羽歯科（新宿診療所）	榊原 信一
54	新宿区	赤羽歯科（信濃町診療所）	大久保 将哉
55	板橋区	安藤歯科医院インプラントセンター東京	安藤 正実
56	板橋区	大西歯科医院	大西 正利
57	板橋区	原木歯科医院	原木 隆
58	板橋区	吉野歯科診療所	吉野 諭
59	板橋区	高島平歯科医院	北村 誠敏
60	杉並区	柳澤歯科クリニック	柳澤 邦博
61	杉並区	飯島歯科医院	飯島 裕之
62	豊島区	北川歯科クリニック	北川 尚
63	豊島区	赤羽歯科（池袋診療所）	原田 知明
64	中野区	藤田歯科医院	藤田 孝雄
65	中央区京橋	馬見塚デンタルクリニック	馬見塚 賢一郎
66	葛飾区	コージ歯科	貝塚 浩二
67	江東区	井上歯科クリニック	井上 幸一
68	北	赤羽歯科（赤羽診療所）	新井 博之
69	浦賀市	松村歯科医院	松村 猛
70	小金井	三浦歯科医院	三浦 健二
71	調布市	杉本歯科医院	杉本 明
72	調布市	弘中歯科医院	弘中 玲子
73	調布市	小原歯科医院	小原 秀生
74	西東京市	畑中歯科医院	畑中 公志
75	府中市・調布市	ちかいるど中野歯科医院	中野 潤三郎
76	町田市	戸羽歯科医院	戸羽 一
77	狛江市	石川歯科医院	石川 俊樹
78	狛江市	関谷歯科医院	関谷 俊治
79	西多摩	せぬま歯科医院	瀬沼 清新
80	川崎市	高柴歯科	高柴 重幸
81	川崎市	パール歯科医院	藤田 靖一
82	川崎市	岡本歯科医院	岡本 圭三・泰輔
83	川崎市	かわわデンタル&ケアクリニック	川和 篤史
84	戸塚	石川歯科医院	石川 茂樹
85	都筑区	黒歯科医院	黒 紘誠
86	相模原市	池田歯科医院	池田 茂
87	鎌倉地区	安藤歯科ORCインプラント矯正センター	安藤 雄真
88	清和	野口歯科医院	野口 芳広・智子
89	川口	赤羽歯科（川口診療所）	小俣 道
90	川口	赤羽歯科（フレンド・デンタルオフィス診療所）	佐藤 卓
91	鹿戸田	赤羽歯科（戸田診療所）	三井 憲
92	北足立	赤羽歯科（上尾診療所）	安東 義政
93	大宮	赤羽歯科（東大宮診療所）	鵜田 宏一
94	鹿行	タナカ歯科医院	権 暁成

指導歯科医師に対する実習説明会



指導歯科医の先生にお願いする事

1. 診療室内のオリエンテーション
2. 診療室での見学・介助
3. 診療室外での見学や手伝い
4. 訪問診療・往診、訪問看護、介護、在宅支援などへの見学や介助（行っている場合）
5. その他の業務の説明（時間に余裕がある時にお願いします）
6. 自己評価票へのフィードバック、学生評価票の記入およびアンケートの提出

学生に対するオリエンテーション

A. 守秘義務・個人情報保護に関わる要項
B. 手洗い
C. 緊急時について
D. 実習先への電話連絡の仕方
E. 訪問時の注意事項
F. ポスター作成の方法
G. お礼の手紙の書き方
H. 身だしなみ

実習内容

【第Ⅰ期】平成26 年 11月 4 日 (火) ・ 11日 (火)　出席番号37 番 ～ 72 番
【第Ⅱ期】平成26 年 11月 18日 (火) ・ 25日 (火)　出席番号73 番 ～ 105 番
【第Ⅲ期】平成26 年 12月 2日 (火) ・ 9 日 (火)　出席番号1 番 ～ 36 番



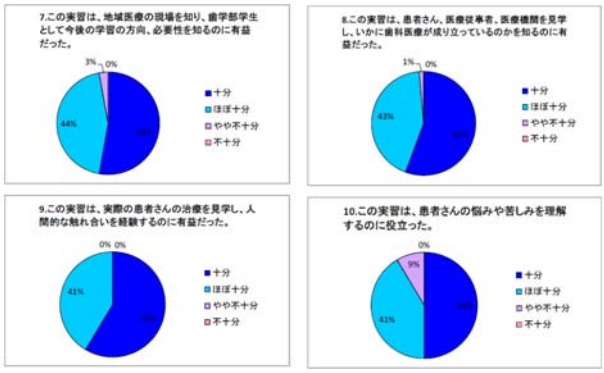
実習報告会



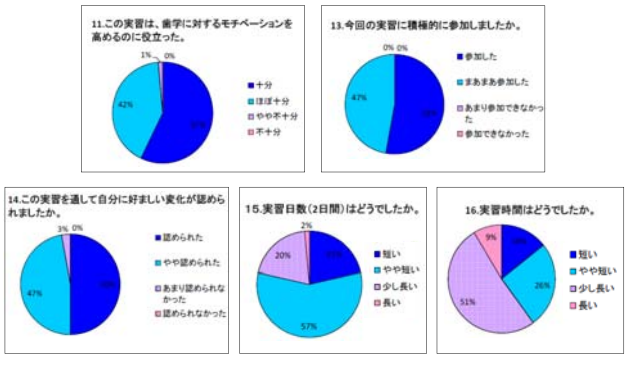
歯科医師会との意見交換会



学生アンケート結果



学生アンケート結果

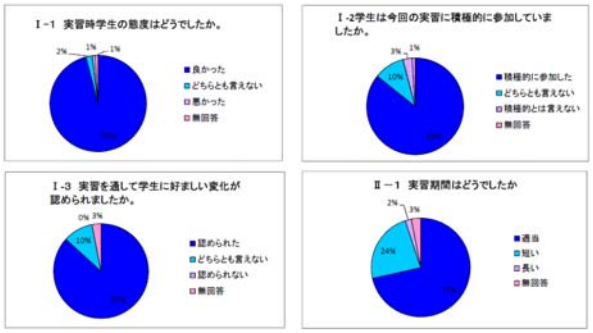


学生アンケート結果

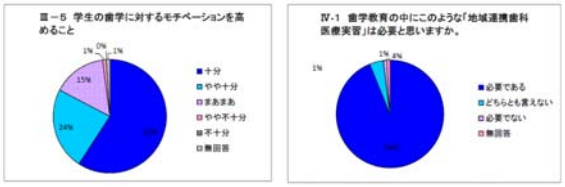
地域連携歯科医療実習についての感想(良かった点や改善してほしい点など)

- 歯科医師会の役割や、地域における歯科医師の役割を本当の意味で知ることができたので、とても有益だとおもった。
- モチベーションをあげるのにとても良いと思いました
- もう少し長い期間がほしかった
- 最初は知らないところに行くのはいやでしたが、実習をやってすごくモチベーションをあげることができた。行ってよかった。
- 地域歯科医院の実態を体験できる貴重な機会だった。
- 実際の現場を体験できる数少ない実習の一つを有意義に行うことができて良かった。

指導歯科医師アンケート結果



指導歯科医師アンケート結果



指導歯科医師アンケート結果

・１週間の期間で毎日来てもよかったと思います。

・当院にとっても、学生にとっても、大変有意義だったと思います。

・今回の実習は、今後の学びに大きくプラスになると感じました。「あの時に見たのが…」と思い出しながら勉強してもらえれば幸いです。

・事前に学生のアピールや意気込み等を知らせていただけたらと思います。

・学生実習は模型が中心ですが、生身の人間、口腔内を目の当たりにすることはこれからの実習にも臨床にも必ず役立つことです。今回、他大学の出身の私にこの様な協力をさせて頂いたことに感謝しております。

指導歯科医師アンケート結果

・歯科医師会と学校歯科、公衆衛生との関係に興味を持っていただいたようです。

・歯科医院と学生のマッチングがとても適切であったと思います。

・3 年生時だけでなく、5 年生時、6 年生時にこのような機会を与えて頂けるとよいと思います。また、2 日間ではなく、もう少し長く、3、4 日間の日程の方が実りある実習になるのではないかと思います。こちらがいろいろと学ばせてもらいました。本当にありがとうございました。

・時期的にはモチベーションのあがる時期かと思います。すばらしい経験になると思います。

・自分の時にもこの実習があれば良かったなと思いました。早く知ることは有意義だと思います。

各大学地域医療実習におけるポートフォリオの準備、実施状況報告

【岩手医科大学】

現在第 2 学年の歯科専門体験実習と第 5 学年臨床実習中の地域医療体験実習、高次臨床実習に電子ポートフォリを導入する予定で進めている。

1. 歯科専門体験実習：
   9 月 4 日～10 日までの予定。9 月 3 日のオリエンテーションまでに準備を完了する予定。
2. 地域医療体験実習：
   9 月 7 日（月）～11 月 27 日（金）の間に実施される予定。9 月初旬（日程未定）のオリエンテーションまでに、準備を完了する予定。
3. 高次臨床実習：
   平成 28 年 1 月～3 月までの間で実施。1 月初旬（日程未定）のオリエンテーションまでに準備を完了する予定。
4. 介護体験実習：
   第 5 学年で 10 月 5 日～10 月 16 日の間で実施するが、現在担当教員と検討中。導入する場合、10 月初旬（日程未定）のオリエンテーションまでには準備を完了する予定。

【北海道医療大学】

moodle を利用してポートフォリオファイルを学生にアップロードさせるような仕組みを製作した。3 年生にはすでに説明済み。5 年生についても、近々説明を予定している。

【昭和大学】

D1:地域連携歯科医療実習Ⅰ（歯科診療所見学実習）　山梨県歯科医師会と連携して、2名の学生が１つの歯科診療所に1日見学する実習。9月に実施。
D3:地域連携歯科医療実習ⅠⅠ（歯科診療所体験実習）東京都歯科医師会と連携して、1名の学生が１つの歯科診療所で2日間実習する実習。11~12月に実施。
D5:4 月より開始。昭和大学付属病院（旗の台、藤が丘、北部、豊洲、烏山）における臨床実習（ケア臨実・病歯臨実・病院口外）において、65 歳以上の患者さんを担当した際に以下のポートフォリオを書く。（65 歳以上の患者さんを担当・見学しなかった場合は、教員に相談の上 65歳未満の基礎疾患を有する患者さんとする）

・旗の台病院：「口腔ケア／ケア臨実」
・藤が丘病院：「連携歯科 医学部付属病院／病歯臨実」
・烏山病院：「連携歯科 医学部付属病院／病歯臨実」
・北部病院：「歯科・口腔外科／病院口外」
・江東豊洲病院：「歯科・口腔外科／病院口外」